

お盆休み今年は家族
で遠出するワン!!



工房だより

～ ペットののための自然食キッチンから ～

大地からの恵みいっぱい
ドッグフード
工房

2023年08月号

vol. 63

ドッグフード工房さんにお世話になり始め一ヶ月半がたちました。去年の3月に生後2ヶ月で来たんですが子犬なのに夏頃から食が細くなり、ふりかけ掛けて食べさせていました。今年に入ってからは更に食べなくなりおやつをこ飯代わりにさせる有様でした。正直、ネット通販は不安もあったんですが食欲が戻り涙やけもかなり改善されてきました。何より食べる時に嬉しい顔を見せてくれる事が一番です。



今月の一枚

ぽあんちゃん 1才 (撮影時)
キャバリア・キングチャールズ・
スパニエル



Say cheese!

ワンちゃんのお写真募集中！
メールにて一言添えてお送り
ください。採用された場合に
は心ばかりのお礼をお送りし
ます。

info@petfood-kitchen.co.jp



ブランドリニューアルの お知らせ

9月からドッグフード工房が生まれ変わります。ロゴには、「すべての栄養は食材から」という思いを入れて、パッケージもドッグフード工房の商品イメージが一目でわかるように一新いたします。



【ブランドリニューアルへの思い】

人は新鮮な食材から食事をとり、必要な栄養素を摂って生きています。しかし、一般的なドッグフードはいろいろなサプリメントを入れて作られています。犬も食材から栄養をとる当たり前の食事をしてもらいたい。そのような思いから、わたしたちは自然素材だけでつくるフードに徹底的にこだわっています。今までのドッグフードではない、新しい基準となるフード、ドッグフード工房は、New Basic dog food になるという思いを込めてリニューアルしました。

ドッグフードですが、キッチンに置いて違和感のない清潔感あるパッケージに



いたしました。ドッグフード工房のアルファベットDFKを使ったワンちゃんのロゴは、少し上を向いて元気に前を進んでいく思いが込められています。9月より現在のパッケージから順次新パッケージに切り替わってまいりますので、是非ご愛顧いただければと思います。

自社サイトの リニューアルにあたり

ブランドリニューアルにあたり、サイトもよりお買い物がしやすいようにリニューアルいたします。

マイアカウントも名称が、マイページに変わり、使いやすく変更します。そのため、誠に手数ではございますが、パスワードの再設定をお願いいたします。方法は、ご登録のメールアドレスを入力し、設定いただく簡単なものです。詳細はメールにて、設定いただけるロゴをお送りいたします。または直接サイトにてご設定いただけるようにいたします。何卒よろしくお願いたします。ご不明な点等がございましたら、お客様窓口までご連絡ください。

お客様窓口 0120-634-436

十時から十七時半(日祝お休み)

腫瘍の検査方法

前回はゴールデンレトリバーに多い病気として、「腫瘍」についてお話ししました。

健康診断の際に偶発的に見つかることが多く、今回はその後の検査方法について説明させていただきます。

できる可能性があるれば、まずは「どこにあるのか？」場所を特定します。

その際によく使用されるのは、レントゲン検査、超音波検査、CT・MRIなどの「画像診断」と呼ばれるものです。

それぞれの検査には、体内の部位により得意な箇所、不得意な箇所が存在します。

検査をしたい部位によって適切な検査方法を選択します。

CT・MRIは動いてしまうと検査ができなため、基本的に全身麻酔を行う必要があります。そのため、ワンちゃんの体調によつては実施することが難しい場合もあります。場所が特定出来たら、次に「これは何なのか？」ということ調べます。

一言に腫瘍といっても、その種類や、悪性なのか良性なのかなどは画像のみでは判断することができません。腫瘍の一部を採取して、細胞や組織の構造を調べて見当を



つけます。皮膚などに出来ている場合は、直接採取することが出来ますが、お

腹の中や胸の中など体内にある場合には、画像検査と併せて採取を行います。

その後、外科的に摘出してから、病理診断と呼ばれる精査を行い確定診断となります。

出血のリスクがある場合など、状況によつては外科手術を行いながら同時進行で組織の検査などを行うこともあります。

どのような順序になるのかは、その子の状態によつて変わる為、担当獣医師とよく相談をして決めていくこととなります。適切な治療のためには、できるものが何なのかを正確に知る必要があります。

検査や治療法も多岐にわたるため、その子に合ったベストな選択ができると思いますね。

獣医師 岡田愛香



「高尾さんちの叶ちゃん」

工さんと房さんは、叶ちゃんと一緒に今週末、はじめてドッグカフェに行くことにしました。房さんはカフェ選びに熱を入れています。工さんはお任せムードを装いながら、チエックに余念がありません。ドッグカフェには犬同伴可能の一般のカフェと、



犬同伴が前提のカフェがあります。初めてなので同伴前提のカフェを考えていました。そんな工さんの気持ちをよそに、房さんは何を着せていこうかなど、ワクワクが止まりません。もちろん、多くの人が食事をする場所なので、衛生面を配慮して抜け毛飛散の防止のために洋服を着せて行くのがマナーです。

今日についてはその日、排泄を済ませ、入店前には、体や足をシートで拭いて準備万端。ワンちゃん用のいすが用意されていましたが



犬同伴可能のカフェに行くことも考えて、足元にマットを敷いて座らせました。ふと、横のテーブルに目をやると、愕然となる光景が目飛び込んできました。テーブルには足を掛けさせてはいけないという基本的なマナーすら守られておらず、またフォークで食べさせているではありませんか。無言になってしまいました。工さんは、足元の叶ちゃんにはメニューにあった馬肉アキレスを注文し、房さんとランチを楽しみました。ドッグカフェで過ごす時間が、叶ちゃんにとつても快適でリラックスできるような場所になるようにしっかりと準備してよかったですと思いました。房さんも大満足の様子。めでたし、めでたし。

つづく